

2010年臨時増刊号Vol.1の振り返り



学びに向かう高校生をいかに育てるか

高校と社会の つながりを考える

Vol.1へのご意見（読者の声より）

◎進路を「行き先」ではなく、「生き先」と捉え、「志」を持った歩みが続けようとする生徒の育成が、目指す進路指導であると感じた。

◎「学校でしか通じない理屈」から脱し、教師自身がより広い社会に目を向けるために役立つと感じた。

正解のない社会のなかでもがき苦しみながら交渉の方向性を見だしていくのが「仕事」ということがよく分かり、企業人の言う「社会で求められる力」の部分は大いに参考になった。

Vol.2への期待（読者の声より）

◎高校、大学、企業が連携するためには、社会における「人材育成」をキーワードにすることで、教育者と企業人との間に研究者が入ってくる要素が出てくると思う。人材育成に必要な力をどのように教育内容に落とし込んでいくのかを考えたい。

◎良き企業人、社会人を育てるために、企業や社会が若者に求めているものを積極的に発信してもらい、キャリア教育を再構築する必要があると感じています。

◎企業人座談会はやはり「大手企業」の話だと感じました。地元の中小企業の話も聞いてみたいと思います。

学びに向かう
高校生を
いかに育てるか

第1部

課題と展望 編

現代を生き抜く力を高校、大学、そして社会の連続性のなかで、どのように育んでいけばよいのだろうか。



学びに向かう高校生をいかに育てるか
**高校、大学、社会の
連続性から考える**

地域の広がり

Part 1 教育関係者+企業人座談会 P. 4

地域を活性化させる人材をいかに育てるか

- ◎今しか出来ないことに一生懸命取り組ませる
- ◎人間関係の近さを大切に作る心を持たせる
- ◎いろいろな大人と話し、気付く機会を提供する
- ◎日々の生活からグローバル化を実感させる
- ◎社会の一員であることを忘れない心構えを持たせる

Part 2 大学生+社会人インタビュー P. 10

**大学生・社会人が振り返る
「今」を築いた出会い、言葉 —— 私の原点**

- ◎部活での挫折体験が頑張る力につながる
- ◎地域活動での出会いから考え方が深まる
- ◎理科の実験が進路決定の原点となる
- ◎日常生活に潜む物理法則に衝撃を受ける

Part 3 教育関係者+企業人座談会 P. 16

グローバル社会へのパスポート

- ◎多様性を受容し、コミュニケーションできる力
- ◎若者の多様性を受け止める大人の側の度量
- ◎海外経験を通じて、自分の考えを持ち、日本を見つめ直す視点
- ◎お互いの力を認め合い、自らの意見を主張できる真の協調性
- ◎正解のない実社会で重要となる「失敗する経験」

Column スティーブン・R・コヴィー博士 世界で求められる人材像と「7つの習慣®」 P. 22

生徒の成長

中学生

高校生

大学生

社会人